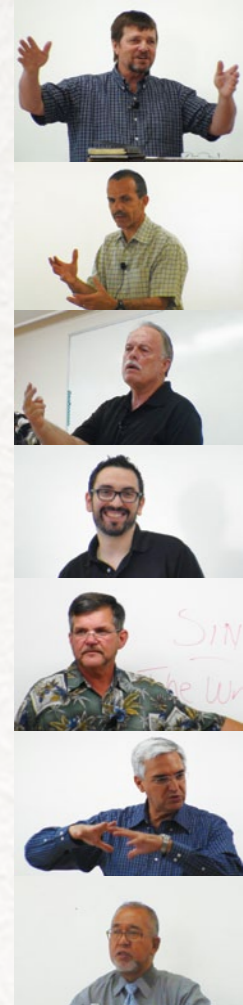


今年の夏も、 昨年を引き続き ISM「短期国際宣教学校」 が開催されました!

(7月17日から8月31日の約7週間)

ISM2012レポート!



26名の参加者!

■第二回目のISM(インターナショナル・スクール・オブ・ミッションズ)は、7月17日~8月31日まで、主の祝福の内に開かれました。昨年はスタッフとしてアメリカから参加、協力したウィル・パーソンズ師が、今年はISM校長として、一家五人で参加し、ISMをリードしてくださいました。全期間参加したフルタイムの学生が、北海道から5名、関西と関東からそれぞれ1名、そしてメキシコから1人の学生、合計8名が参加しました。この他に、日本人、アメリカ人、メキシコ人の学生が合計18名参加しました。

第一級のティーチング!

■学生は、地元札幌近郊の牧師から「クリスチャンホーム」や「伝道」、「世界宣教の展望」などについて学びました。そしてISMでは毎週、世界各地の第一線で活躍している神の器たちを招き、今主がなさっておられるみわざを聞き、また、みことばから宣教について学ぶ事ができました。いずれも、第一級のティーチングです。講師と講義名は下記の通りです。

南三陸町の人々に祝福あれ!!(被災地への奉仕活動)

■ISMの最終週(8月26~31日)、ISM生とその家族、総勢23名で東北の南三陸町にアウトリーチに行きました。OGAフォー・アイトというノンクリスチャンの団体が現地のホストとして迎えてくれ、そこで、地元住民のための作物の収穫作業をお手伝いしました。ある日の午

後は、300キロものトマトを収穫しました! 地元の仮設住宅が並ぶ場所を訪問する事もできました。そこで、チームの子どもたちが日本のフォークダンスを演じ、来てくれた住民の皆さんを大いに楽しませました。それから、歌、あかしと続き、イエス・キリストの福音が語られました。チームのメンバーであるメキシコ人アレハンドラは、1人の女性のため、福音メッセージのフォローアップをするのみならず、彼女を主のみもとへと導くことができました。ISMのために祈って、ささげてくださいましたお一人お一人に感謝します。ISMは大成功でした。すばらしいアウトリーチで締めくくる事ができて感謝でした。



●OGAフォー・アイトでの収穫作業をする学生達。



●仮設住宅に住む方々を、地元クリスチャンセンターにご招待。



●アウトリーチに参加した、ISM2012学生とその家族。

●講師名	●講義名	講義回数	DVD	CD
・ジョン・キャスカート	「パウロの宣教」	8	4	8
・キングスレイ・アームストロング	「ヨシュアー約束の地へ人々を導く」	10	5	10
・マーティン・フェスター	「コスモビジョンー神を知ること」	12	6	12
・セルヒョ・ゴンサレス	「聖書へのアプローチ」	10	5	10
・ビル・パーソンズ	「ローマ人への手紙ー神の人間観」	10	5	10
・ロドルフォ・ガルサ	「スーパーナチュラルクリスチャン」	6	3	6
・井上馨	「証し」	1	1	1

●講義のDVD・CD(1講義DVDは800円・CDは500円)を希望される方は、事務局にご連絡ください。

★予告:来年、ISM2013は、7月16日(火)~8月30日(金)に開きます。アウトリーチは、8月11日(日)から17日(土)を予定しています。



坂本麗名
(2年卒業
・福島県出身)

2012年7月6日(金) 卒業・修了式

学びを終え、3名の学生が学びの舎を旅立ちました。新たな歩みのためにお祈りをお願いします。

■ハレルヤ! 主イエスキリストの聖名を讃美します。2年間を振り返ると、神様と先生およびスタッフの方々と主にある兄弟姉妹、そしていつも支えとなってくれた主人の清恵さんの愛と恵みが豊かに絶えず注がれていたことを思い感謝でいっぱいです。学院で主の御霊が豊かに働かれています。『主は御霊です。そして、主の御霊のあるところには自由があります。』これからも栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きたいです。

■主の御名をほめたたえます。神様と多くの方々のおかげで、2年間の学びの期間を終えることができたことを心から感謝します。学院での2年間の学びはどれも素晴らしい、多くのことを学びました。また、昨年3月の震災で私たちの故郷が被災したとき、この学院や関係する諸教会の方々がイエス様の愛を私たち家族に表して下さいました。そして、なんと私の家族全員(5名)がイエス様を信じ、受け入れることになったのです! こんな素晴らしい体験をしたことは、今までありませんでした。これまでも、この学院を通して受けたイエス様の愛を忘れることなく、多くの人に仕える者になりたいと思います。最後に、この2年間に共に学び、どんな時にも私を励まし、愛してくれた妻に、感謝!



坂本清恵
(2年卒業・福島県出身)



■まず最初に主に感謝します! そして、お世話になった先生方、吉田さんご夫妻、学院生達に感謝します! 学院生活は私にとって知識よりも実践的な面で信仰の訓練でしたけど、神様にはできないことが無いという私が見ていた目標の神様じゃない、いつも自分が試されるのでは無くて、主を愛する心や信仰を試された学院生活でした! 最高の神様にこれからも全てを委ねて、主と共に生きていきたいと思えます!



松本こずえ
(1年修了・兵庫県出身)

チャールズ・J・グリコ先生のお母さん「マーガレット・グリコ」姉が 103歳で平安の中、天に召されました。2012年8月11日

チャールズ・グリコから皆様へ

私の母 マーガレットは、1909年8月8日、アメリカ合衆国イリノイ州のシカゴで生まれました。彼女の父親は彼女が生まれる前に亡くなりましたので、未亡人となった彼女の母親によって育てられました。私の母の母親はハンガリーからの移民で、家庭の外に出て働かなければならませんでした。ですから、私の母の子ども時代というのは、貧困と限られた教育という状況にありました。母は年をとるにつれて、「(天国の)おうちに帰りたい」とよく言ったものです。そして2012年8月11日、母の103才の誕生日の数日後、主は天にある神の家に母を召して下さいました。彼女は今そこにいます。地上生涯において、主の変わらない愛を証した『雲のようにとりまく多くの証人たち』(ヘブル12:1)とともに、母の愛と奉仕の生涯は、私にたくさんのお話を教えてくれました。母の生涯はあなた、そしてあなたの子どもたちにとっても、助けとなるものかもしれません。



1. 私たちの背景がどんなものであっても、すべての人が尊いのです。このことは、神様が私たち一人一人をお造りになり、そして私たちが個人として愛して下さっている事実に基づくものです。私たちはこの世のやり方を通して自分の存在意義を求めする必要はありません。イエス様が私たち一人一人のために死んで下さったという事実は、たとえこの世が何と言おうと、私たちが主の目に尊いものとして下さっています。事実は『私たちは、キリストにあって満ち満ちているのです。』(コロサイ2:10)
2. 私たちの体は自然に成長しますが、私たちの霊は成長することを選択しなければなりません。母は主を深く求めることを選びました。みことばを読んで、イエス様の模範に従う事を選択したのです。彼女は悪い(間違った)ことではなく、良い(正しい)ことを行うことを選びました。毎日の適切な選択を通して、私たちはみな、霊的に成長することができます。
3. 『私たちの前に置かれている人生の競争を、イエス様から目を離さないで走り続けようではありませんか』(ヘブル12:1-2)母は自分の前に置かれていた人生の様々な状況を受け入れ、不完全な人間に目を向けるのではなく、いつもイエス様から目を離しませんでした。これが彼女の強さの源でした。